

令和8年度 事業計画書

《事業運営の基本方針》

- 東京都をはじめ関係機関・団体との密接な連携の下に、能力開発事業や技能評価事業、技能振興事業を効果的に実施し、技能人材の確保・育成と技能者の地位向上に貢献していく。
- デジタル技術の活用などによるサービスの向上や事務事業の効率化を図るとともに、経費節減に努める。

1 総務事項

事項	概 要
運営方針	・ 安定した事業運営を支える財政基盤の確立に努めるとともに協会事業の一層の活用促進を図るため、事業のPR強化等に努める。 ・ 事務改善や職場環境の改善に取り組み、効果的、効率的な事業運営を図る。
総会・理事会等	1 通常総会 5月～6月 2 理事会 3月 3 参与会 7月・2月
会長表彰	1 認定訓練・技能検定等で功績、功労のあった個人及び団体 2 東京都技能検定試験成績優秀者 3 会員団体主催の技能コンクール等で優秀な成績を修めた者 4 認定職業訓練校成績優秀者
情報提供等	1 会報等の発行 会 報 : 4回発行 事業概要 : 1回作成 2 ホームページ等による情報提供 協会から発信する情報をホームページに掲載するなど、情報発信力の更なる強化を図るとともに、最新情報への更新を徹底し、随時見直しを実施

2 職業訓練振興事業

事項	概 要
運営方針	東京都と緊密な連携を図りつつ、職業訓練指導員講習及び認定職業訓練校に対する各種事業を実施する。
指導員講習等	- 厚生労働大臣が指定する職業訓練指導員免許取得講習を開催 3回 [定員]40人/回 - 東京都が実施する職業訓練指導員試験の受験者を対象とする受験対策講習会を開催 1回 [定員]40人/回
認定訓練関係	- 当協会会員認定校への支援を実施 「ものづくり・匠の技の祭典2026」への出展助成 - 都立職業能力開発センター「技能祭」への参加助成 - 校外実習等の助成

3 人材育成研修事業

事項	概 要																																																																		
運営方針	・ 受講実績や受講者アンケートを検証し、受講ニーズに即した研修科目やカリキュラムを企画・実施する。 ・ 受講希望の多い研修について、実施規模を拡充する。 ・ 受講希望が多い時期の研修開催を拡充する。 ・ 受講者のニーズや近年の動向を踏まえ、テキスト内容の変更・改訂を行う。 ・ 研修開催案内の発送件数を増やし、事業の周知を強化する。																																																																		
各種研修	<table><tr><th colspan="2">研修区分</th><th>定員</th><th>回数</th><th>定員(人)</th></tr><tr><td colspan="5">階 層 別 研 修</td></tr><tr><td rowspan="2">新入社員</td><td>新入社員(3日)</td><td>30</td><td>7</td><td>210</td></tr><tr><td>新入社員フォローアップ(2日)</td><td>30</td><td>2</td><td>60</td></tr><tr><td rowspan="3">初級・中堅</td><td>若手社員(2日)</td><td>25</td><td>3</td><td>75</td></tr><tr><td>中堅社員活性化(2日)</td><td>25</td><td>7</td><td>175</td></tr><tr><td>中堅リーダー(2日)</td><td>25</td><td>9</td><td>225</td></tr><tr><td rowspan="2">管理職等</td><td>管理職養成(2日)</td><td>25</td><td>6</td><td>150</td></tr><tr><td>管理職実践(2日)</td><td>25</td><td>1</td><td>25</td></tr><tr><td colspan="2">(小 計)</td><td></td><td>35</td><td>920</td></tr><tr><td colspan="2">課 題 別 研 修</td><td>25</td><td>9</td><td>225</td></tr><tr><td colspan="2">講師派遣研修</td><td>—</td><td>3</td><td>35</td></tr><tr><td colspan="2">オンライン研修</td><td>10</td><td>2</td><td>20</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>—</td><td>49</td><td>1,200</td></tr></table>	研修区分		定員	回数	定員(人)	階 層 別 研 修					新入社員	新入社員(3日)	30	7	210	新入社員フォローアップ(2日)	30	2	60	初級・中堅	若手社員(2日)	25	3	75	中堅社員活性化(2日)	25	7	175	中堅リーダー(2日)	25	9	225	管理職等	管理職養成(2日)	25	6	150	管理職実践(2日)	25	1	25	(小 計)			35	920	課 題 別 研 修		25	9	225	講師派遣研修		—	3	35	オンライン研修		10	2	20	合 計		—	49	1,200
研修区分		定員	回数	定員(人)																																																															
階 層 別 研 修																																																																			
新入社員	新入社員(3日)	30	7	210																																																															
	新入社員フォローアップ(2日)	30	2	60																																																															
初級・中堅	若手社員(2日)	25	3	75																																																															
	中堅社員活性化(2日)	25	7	175																																																															
	中堅リーダー(2日)	25	9	225																																																															
管理職等	管理職養成(2日)	25	6	150																																																															
	管理職実践(2日)	25	1	25																																																															
(小 計)			35	920																																																															
課 題 別 研 修		25	9	225																																																															
講師派遣研修		—	3	35																																																															
オンライン研修		10	2	20																																																															
合 計		—	49	1,200																																																															

4 技能検定事業

事項	概 要																																																					
運営方針	・ 東京都の実施方針等に従い、技能検定委員及び協力団体・協力企業を適切に指導するとともに関係機関と連携し、厳正かつ公正に技能検定を実施する。 (定期試験) 若年者の受検者増を図るため、前年度に引き続き、学校を中心としたPRを強化する。 (随時試験) 受検者増に対応するため集合方式職種の拡大と実技試験方法の工夫を行う。																																																					
定期試験	1 規模 <table><tr><th>等級</th><th>職 種</th><th>作 業</th><th>学 科 人 員(人)</th><th>実 技 人 員(人)</th></tr><tr><td>特 級</td><td>25</td><td>—</td><td>160</td><td>160</td></tr><tr><td>1 級</td><td>103</td><td>165</td><td>4,450</td><td>4,450</td></tr><tr><td>2 級</td><td>103</td><td>165</td><td>3,300</td><td>3,300</td></tr><tr><td>3 級</td><td>20</td><td>29</td><td>1,940</td><td>1,940</td></tr><tr><td>単一等級</td><td>10</td><td>11</td><td>150</td><td>150</td></tr><tr><td>合 計</td><td colspan="2">—</td><td>10,000</td><td>10,000</td></tr></table> 2 実施日程 <table><tr><th></th><th>前 期</th><th>後 期</th></tr><tr><td>実 施 公 示</td><td>令和8年3月2日(月)</td><td>令和8年9月1日(火)</td></tr><tr><td>申 請 受 付</td><td>4月6日(月)～ 4月17日(金)</td><td>10月5日(月)～ 10月16日(金)</td></tr><tr><td>実 技 試 験</td><td>6月10日(水)～9月9日(水) 11月11日(水) ☆</td><td>令和9年 12月4日(金)～ 2月14日(日)</td></tr><tr><td>学 科 試 験</td><td>7 月 12 日 (日) ★ 8 月 23 日 (日) 8 月 30 日 (日) 9 月 6 日 (日)</td><td>令和9年 1 月 24 日 (日) 1 月 31 日 (日) 2 月 3 日 (水) 2 月 7 日 (日)</td></tr><tr><td>合 格 発 表</td><td>8 月 28 日 (金) ★ 10 月 2 日 (金) 11 月 26 日 (木) ☆</td><td>令和9年 3 月 12 日 (金)</td></tr></table> ★…金属熱処理を除く3級職種 ☆…造園職種・とび職種に限る。 9月10日(木)～11月11日(水)の期間内で実施した場合、合格発表日は11月26日(木)	等級	職 種	作 業	学 科 人 員(人)	実 技 人 員(人)	特 級	25	—	160	160	1 級	103	165	4,450	4,450	2 級	103	165	3,300	3,300	3 級	20	29	1,940	1,940	単一等級	10	11	150	150	合 計	—		10,000	10,000		前 期	後 期	実 施 公 示	令和8年3月2日(月)	令和8年9月1日(火)	申 請 受 付	4月6日(月)～ 4月17日(金)	10月5日(月)～ 10月16日(金)	実 技 試 験	6月10日(水)～9月9日(水) 11月11日(水) ☆	令和9年 12月4日(金)～ 2月14日(日)	学 科 試 験	7 月 12 日 (日) ★ 8 月 23 日 (日) 8 月 30 日 (日) 9 月 6 日 (日)	令和9年 1 月 24 日 (日) 1 月 31 日 (日) 2 月 3 日 (水) 2 月 7 日 (日)	合 格 発 表	8 月 28 日 (金) ★ 10 月 2 日 (金) 11 月 26 日 (木) ☆	令和9年 3 月 12 日 (金)
	等級	職 種	作 業	学 科 人 員(人)	実 技 人 員(人)																																																	
特 級	25	—	160	160																																																		
1 級	103	165	4,450	4,450																																																		
2 級	103	165	3,300	3,300																																																		
3 級	20	29	1,940	1,940																																																		
単一等級	10	11	150	150																																																		
合 計	—		10,000	10,000																																																		
	前 期	後 期																																																				
実 施 公 示	令和8年3月2日(月)	令和8年9月1日(火)																																																				
申 請 受 付	4月6日(月)～ 4月17日(金)	10月5日(月)～ 10月16日(金)																																																				
実 技 試 験	6月10日(水)～9月9日(水) 11月11日(水) ☆	令和9年 12月4日(金)～ 2月14日(日)																																																				
学 科 試 験	7 月 12 日 (日) ★ 8 月 23 日 (日) 8 月 30 日 (日) 9 月 6 日 (日)	令和9年 1 月 24 日 (日) 1 月 31 日 (日) 2 月 3 日 (水) 2 月 7 日 (日)																																																				
合 格 発 表	8 月 28 日 (金) ★ 10 月 2 日 (金) 11 月 26 日 (木) ☆	令和9年 3 月 12 日 (金)																																																				
	3 若年者の受検促進の強化 ・ 受検実績のない学校を中心とした個別訪問と動画を活用したPRを実施																																																					
随時試験	1 規模 <table><tr><th>等級</th><th>職 種</th><th>作 業</th><th>学 科 人 員(人)</th><th>実 技 人 員(人)</th></tr><tr><td>基 礎 級</td><td>47</td><td>75</td><td>3,000</td><td>3,000</td></tr><tr><td>随時3級</td><td>46</td><td>72</td><td>3,400</td><td>3,400</td></tr><tr><td>随時2級</td><td>35</td><td>43</td><td>600</td><td>600</td></tr><tr><td>合 計</td><td colspan="2">—</td><td>7,000</td><td>7,000</td></tr></table> 2 実施日程 年間を通じ、随時実施 3 実施体制等 ・ 随時試験専用会場である江戸川検定試験場を集合試験の拠点として継続して運用 (令和3年7月より運用開始) ・ 個別方式から集合方式への職種拡大検討と江戸川検定試験場での実技試験方法の工夫を行う。 4 育成就労制度への対応 令和9年4月1日から施行される育成就労制度の情報収集と受検者動向の見極めを図る。	等級	職 種	作 業	学 科 人 員(人)	実 技 人 員(人)	基 礎 級	47	75	3,000	3,000	随時3級	46	72	3,400	3,400	随時2級	35	43	600	600	合 計	—		7,000	7,000																												
	等級	職 種	作 業	学 科 人 員(人)	実 技 人 員(人)																																																	
基 礎 級	47	75	3,000	3,000																																																		
随時3級	46	72	3,400	3,400																																																		
随時2級	35	43	600	600																																																		
合 計	—		7,000	7,000																																																		

5 技能評価事業

事項	概 要																				
運営方針	ビジネス系の職務遂行能力の評価を行う公的資格試験として、厳正かつ公正に実施していく。 ・ 中央職業能力開発協会と連携し、効率的な運営を図る。 ・ 企業や関係教育機関等に対するPR活動を通じて受験促進を図る。																				
ビジネスキャリア検定試験	1 概 要 事務系職種の従事者を対象とした公的資格試験で、中央職業能力開発協会の協力依頼に基づき当協会が試験を実施。試験当日の会場運営は運営業者へ委託。																				
	2 試験分野・区分																				
	<table><tr><th>分 野</th><th>区 分</th></tr><tr><td>人事・人材開発・労務管理</td><td>人事・人材開発、労務管理 等（5区分）</td></tr><tr><td>経理・財務管理</td><td>経理、財務管理 等（6区分）</td></tr><tr><td>営業・マーケティング</td><td>営業、マーケティング 等（5区分）</td></tr><tr><td>生産管理</td><td>生産管理プランニング 等（6区分）</td></tr><tr><td>企業法務・総務</td><td>企業法務、総務 等（6区分）</td></tr><tr><td>ロジスティクス</td><td>ロジスティクス管理 等（6区分）</td></tr><tr><td>経営情報システム</td><td>経営情報システム（3区分）</td></tr><tr><td>経営戦略</td><td>経営戦略（3区分）</td></tr><tr><td>8分野</td><td>40区分</td></tr></table>	分 野	区 分	人事・人材開発・労務管理	人事・人材開発、労務管理 等（5区分）	経理・財務管理	経理、財務管理 等（6区分）	営業・マーケティング	営業、マーケティング 等（5区分）	生産管理	生産管理プランニング 等（6区分）	企業法務・総務	企業法務、総務 等（6区分）	ロジスティクス	ロジスティクス管理 等（6区分）	経営情報システム	経営情報システム（3区分）	経営戦略	経営戦略（3区分）	8分野	40区分
	分 野	区 分																			
	人事・人材開発・労務管理	人事・人材開発、労務管理 等（5区分）																			
	経理・財務管理	経理、財務管理 等（6区分）																			
	営業・マーケティング	営業、マーケティング 等（5区分）																			
	生産管理	生産管理プランニング 等（6区分）																			
	企業法務・総務	企業法務、総務 等（6区分）																			
	ロジスティクス	ロジスティクス管理 等（6区分）																			
経営情報システム	経営情報システム（3区分）																				
経営戦略	経営戦略（3区分）																				
8分野	40区分																				
3 実施日程 〔前期〕 令和8年10月4日（日） 〔後期〕 令和9年2月14日（日）																					
4 実施規模 〔前期〕 4, 000人 〔後期〕 4, 000人																					
1 概 要 コンピュータ操作従事者を対象とした公的資格試験で、中央職業能力開発協会の協力依頼に基づき当協会が認定・登録した施設が行う試験の一部事務を実施																					
2 試験分野																					
<table><tr><th>分 野</th><th>部 門</th><th>等級区分</th></tr><tr><td rowspan="3">OA機器操作分野</td><td>ワープロ部門</td><td rowspan="2">1級・2級・3級</td></tr><tr><td>表計算部門</td></tr><tr><td>情報セキュリティ部門</td><td>単一級</td></tr></table>	分 野	部 門	等級区分	OA機器操作分野	ワープロ部門	1級・2級・3級	表計算部門	情報セキュリティ部門	単一級												
分 野	部 門	等級区分																			
OA機器操作分野	ワープロ部門	1級・2級・3級																			
	表計算部門																				
	情報セキュリティ部門	単一級																			
3 実施日程 令和8年4月～令和9年3月（毎月実施）																					
4 実施規模 500人																					

6 技能振興事業

事項	概 要
運営方針	・ 若者のものづくり離れや熟練技能者の高齢化が進む中、若者を中心に技能尊重気運を醸成するとともに、技能者の地位向上や技能向上に資する多様な事業を展開し、ものづくり人材の確保育成に貢献していく。 ・ 事業実施にあたっては、東京都をはじめ関係機関・団体との連携を密にして、効果的な運営を図る。
ものづくり体験教室	・ ものづくりに接する機会を提供するため、小中学校へものづくりマイスター等を派遣し、ものづくりの実演や体験指導を行う。 〔対 象〕 小学校、中学校等の生徒等 〔職 種〕 20職種程度[タイル張り、印章彫刻、貴金属装身具、表装、寝具製作、工場板金 等] 〔規 模〕 5, 500人 ・ ものづくりに対するより一層の理解促進を図るため、製造現場で働く人々や作業工程等を肌で感じ見聞きできる工場見学を実施 〔対 象〕 児童、生徒及びその保護者等 〔地 域〕 都内全域 〔規 模〕 200人(40人×5回)
職人塾	・ 若者をものづくり現場に誘導し、若者の技能職への就業の契機とするため、ものづくり現場の見学会や職人の指導の下での職場体験を実施する。 〔対 象〕 34歳以下のものづくり職種に就職を希望する若者 〔職 種〕 20職種程度[洋裁、江戸表具、手描友禅 等] 〔実習期間〕 最大20日 〔規 模〕 50人程度
競技大会等への参加	・ 各種技能競技大会への参加にあたり、選手選抜や選手派遣事業所との連絡調整、参加促進等助成、参加支援、普及啓発を行う。 - 第64回「技能五輪全国大会」への参加 〔目 的〕 技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成を図る。 〔対 象〕 国内青年技能者(原則23歳以下) 〔日 程〕 令和8年12月4日(金)～7日(月) 〔会 場〕 愛知県(愛知県国際展示場 他) - 第21回「若年者ものづくり競技大会」への参加 〔目 的〕 若年者に対して技能レベルを競う場を提供することにより、若年者に目的を付与し、技能を向上させることにより就業促進を図り、合わせて若年技能者の裾野拡大を図る。 〔対 象〕 能力開発施設、工業高校等の若年者(原則20歳以下) 〔日 程〕 令和8年8月1日(土)～3日(月) 〔会 場〕 富山県(富山産業展示館 他)

事項	概 要
競技大会等への参加	3 全国技能競技大会等参加促進事業 (1) 全国技能競技大会等選手育成強化補助金 東京都(日本)代表として出場する選手及び出場を目指す選手の強化実習に係る経費を補助 ① 対象競技大会 技能グランプリ、技能五輪全国大会、全国障害者技能競技大会及び関連の国際大会 ② 補助対象団体 企業、学校、競技職種関係団体等 ③ 補助対象経費 外部講師謝金、材料費、会場・機器等賃借料、外部講習会参加費等 (2) 技能五輪全国大会出場支援補助金 東京都代表として出場する選手の参加に要する経費を補助 ① 対象団体 企業、学校、競技職種関係団体等 ② 対象経費 大会参加費、職種別負担金(職種別負担金は技能五輪全国大会のみ) (3) 参加支援 東京代表選手及び関係者に対し、事前の説明会、当日の支援、参加後の報告会等の支援を実施 (4) 普及啓発 新たに社員を参加させる企業等を増やすため、競技大会の参加の効果や練習の方法、企業の役割などについて普及啓発を実施
	4 「ものづくり・匠の技の祭典2026」 東京都が主催する「ものづくり・匠の技の祭典2026」に共催団体として全体運営に携わるとともに、下記の内容を出展し、匠の技の魅力を発信 〔日 程〕 令和8年7月31日(金)～8月2日(日) 〔会 場〕 東京国際フォーラム 〔出展内容〕 ① 技能振興 ものづくり実演・体験、卓越した技能者(現代の名工)表彰制度60回記念式典 ② 技能検定 実技試験課題の作品展示、PR動画の放映、資料の提供 ③ 職人塾 スライドショーによる紹介、パンフレット等の提供

7 若年技能者人材育成支援等事業(厚生労働省委託事業)

事項	概 要
運営方針	・ 工業高校等に対する実技指導を拡充し、若年者の技能検定受検促進支援を強化する。 ・ 児童、生徒等を主とした不特定多数の者に対する「ものづくりの魅力」の発信の拡充を図る。
ものづくりマイスターの認定・活用	1 若年技能者の人材育成に係る相談・援助 ・ 相談受付窓口を設置し、若年技能者の人材育成に係る相談・援助、ものづくりマイスターを活用した実技指導など総合的なコーディネートを展開 2 ものづくりマイスターの認定・登録 ・ ものづくりマイスターの認定・登録に関する相談・援助を実施 (8年度の新規認定職種:2職種(化学分析、園芸装飾)) 3 指導技法等講習会の実施 ・ 新たに認定されたものづくりマイスターに対し、指導技法等講習会を実施(年4回程度) 4 ものづくりマイスター等の派遣による実技指導の実施 (1) ものづくりマイスターの派遣 ① 中小企業等 ・ 企業二一ズに即した実技指導を実施 〔規模〕受講者 延900人日 ② 工業高校等 ・ 技能検定課題等を活用した実技指導を実施 〔規模〕受講者 延3,800人日 ③ 小中学校等 ・ 小中学校等の生徒を対象にものづくりの実演・ものづくり体験を実施 〔規模〕受講者 延300人日 ④ 不特定多数の者等 ・ ものづくりの実演・ものづくり体験指導を実施 〔規模〕受講者 延1,800人日 (2) 熟練技能者の派遣 ・ ものづくりマイスター対象外の職種で実施 〔規模〕受講者 延100人日
地域における技能振興	1 技能五輪全国大会予選の実施 3職種〔西洋料理、洋菓子製造、電工〕 2 技能五輪全国大会等参加者への支援(旅費等) ・ 「技能五輪全国大会」(開催地:愛知県) ・ 「若年者ものづくり競技大会」(開催地:富山県) 3 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援 4 卓越した技能者(現代の名工)表彰制度60回記念式典の実施
連携会議	事業の進行管理及び推進計画を審議 〔開催〕本会議:2回、専門分科会:2回 〔委員〕学識経験者、経営者団体、労働者団体、教育関係者、東京都、東京労働局